

# 教育学部

Faculty of Education

目指そう！  
未来のスクールリーダー

教育学部は、教員養成に特化した教育学部になりました。

1. 現代のニーズに対応、2. 進路のサポートが充実、3. 新しい入試  
この3つの魅力で、「魅力的な教員」を養成します。

教育学部では、新しい時代を切り拓き、子どもたちの成長を支え続けることのできる小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校などの先生を養成します。したがって、各コースの教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えるとともに、子どもや地域社会、教科の指導、人間への理解に関心の高い人を受け入れるために、多様な入学者選抜を行います。



教育学部長

藤井良宜

教育学部は、平成28年に教育文化学部から名称を変更して、教員養成を中心とした学部にもどりました。現在は、小学校教育を中心に据えながら、それだけではなく学生の志望に応じて中学校教育や特別支援教育などにも対応できる人材の育成を行っています。本学部の特徴は、さまざまな分野の大学教員による教育を行っている点にあります。中学校・高等学校の教育に合わせて、それぞれの教科の専門的な内容を研究している教員も多くおられますし、教育学、心理学、教科教育法など教員として必要とされる分野の研究を行っている教員もたくさんおられます。教員養成に必要な学習を進めるだけでなく、これらのさまざまな分野の先生方に触れ合うことは、将来の教員生活に大いに役に立つことと思います。将来学校の先生になろうと思っている皆さん、是非教育学部の門をたたいてみてください。心よりお待ちしております。

## ■教育学部 各コース

### 学校教育課程 小中一貫教育コース

小・中の9年間で視野に入れた教育実践力を持ち、児童期・青年期の発達をふまえた教材・教具、教育方法の工夫ができる高い授業力を備えた教員を養成。

### ■小学校主免専攻

主に小学校教育を基盤として、中学校も視野に入れた教育実践力を育成。

P9

### ■中学校主免専攻

主に中学校教育を基盤として、各教科の専門的知識・技能に基づく教科指導力と教育実践力を育成。

P11

### 学校教育課程 教職実践基礎コース

現代の教育課題に対応するための教育の諸理論と実践力を兼ね備え、地域に根ざす学校づくりの中心となる教員を養成。

P13

### 学校教育課程 発達支援教育コース

幼児期から児童・青年期までの発達上の特徴や障がいのある子どもの特性をふまえた深い子ども理解ができ、一人ひとりの子どもの教育的ニーズにあわせた支援・指導ができる教員を養成。

### ■子ども理解専攻

子どもの生活を支えるカウンセリングマインドと技能、心の問題を予防し対処する能力を育成。  
幼稚園、認定こども園と小学校との連携、家庭との協働を実現するコミュニケーション能力を育成。

P15

### ■特別支援教育専攻

障がいのある子どもの実態や教育的ニーズを的確に把握して、指導・支援できる力を養い、地域の特別支援教育を支える高い専門性を有する人材を育成。

P17

## ■入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実に備え、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育、幼稚園教育を実践できる人材を養成します。

なお、学校教育課程のすべてのコースにおいて、大学入学までに身につけて欲しい教科・科目等の学力や能力は次のとおりです。

まず、「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」の基礎的な内容を習得していることが望まれます。さらに、教科全般にわたる基礎学力が求められます。

そして、教職についての関心と意欲、知的好奇心や行動力、他者とのコミュニケーション能力を培っておくことが望まれます。

## ■卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

教育学部では、教育に対する強い使命感と教員としての基礎的資質・能力を確実にそなえ、発達段階を見通した広い視野から初等教育、中学校教育、特別支援教育を実践できる人材を養成します。したがって、本学部の各コース・専攻ではそれぞれ以下のような能力を、卒業要件として考えています。

### 小中一貫教育コース

- 小学校・中学校・小中一貫校の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、小学校・中学校・小中一貫校の教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。
- 児童・生徒の実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 小学校・中学校・小中一貫校の教育課程や指導法に関する知識及び技能を児童生徒の実態に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

### 教職実践基礎コース

- 学校教育制度の社会的役割を理解し、学校教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できるとともに、社会の一員として適切に行動できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、学校教員に必要な教育的愛情を持って児童・生徒に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、児童・生徒の実態を把握することができる。
- 教育方法及び学習理論、学校・学級経営等に関する専門的知識、技能に基づき、生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 授業実践の基礎となる教育方法、学習方法、教育課程編成の原理や歴史的遺産を踏まえて自他の教育実践を省察し、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校教育の成り立ちや現代の学校が直面しているさまざまな教育課題を明確に理解し、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 教育課程・学習開発、指導法に関する知識及び技能を、一人一人の幼児・児童・生徒の成長や個性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

### 発達支援教育コース

#### <子ども理解専攻>

- 小学校、幼稚園・認定子ども園の教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、小学校、幼稚園・認定子ども園の教員に必要な教育的愛情を持って幼児・児童に接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、心理・行動的問題を示す幼児・児童とのコミュニケーションを図り、幼児・児童の実態を理解することができる。
- 幼児・児童のメンタルヘルスの状態に配慮して、問題の予防・対処に必要な生徒指導、教育相談及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 自他の教育実践を省察して、自己の課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育の基礎的諸理論に基づき、学校現場で生じているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 小学校の各教科等の内容及び幼稚園・認定子ども園の保育内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 幼児児童の成長やメンタルヘルスの状態に配慮しながら、小学校・幼稚園・認定子ども園の教育課程や指導法に関する知識及び技能を授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

#### <特別支援教育専攻>

- 特別支援教育に携わる教員としての使命感や倫理観を持って教育活動に関与できる。
- 将来、同僚職員等の様々な人と協調・協働して教育課題を解決するための基礎となる「他者との協調・協働」ができる。
- 個と多様性を尊重し、特別支援教育に携わる教員に必要な教育的愛情を持って子どもに接することができる。
- 自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる。
- 日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- 知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の障害特性を理解し、特別な教育的支援を必要とする子どもの実態を把握することができる。
- 特別な教育的支援を必要とする子どもの実態に即した生徒指導及び学級経営に取り組むことができる。
- 情報通信技術(ICT)を用いて多様な情報を収集し、数量的スキルに基づいて分析し、その結果を効果的に活用することができる。
- 課題を発見し、情報や知識を多面的、論理的に分析して、その課題を解決する方策をとることができる。
- 特別支援学校や小学校における自他の教育実践を省察することで、自己の学習課題を明確にし、理論と結びつけながら教育実践に取り組むことができる。
- 人類の文化、社会、自然及び地域に関する知識を理解できる。
- 学校教育及び特別支援教育の基礎的諸理論に基づき、知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等の子どもが抱えているさまざまな教育課題について論じ、適切な対応を考えることができる。
- 各教科等の内容に関する知識及び技能を修得し、それを教育実践に活用することができる。
- 特別支援学校の教育課程や知的障害、肢体不自由、病弱、重複障害、発達障害等に対する指導法に関する知識及び技能を一人ひとりの子どもの発達や障害特性に応じた授業計画、教材・教具の工夫に活用することができる。

## ■施設紹介



附属教育協働開発センター



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



特別支援学級

# 小中一貫教育コース [小学校主免専攻]

Unified Elementary and Junior High School Education Course Elementary School Major

学校教育の入り口となる初等教育は、次世代を担う子どもたちを育む意味でたいへん重要です。本コースは小学校教員としての基本的な資質を高め、同時に10の専攻(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)からなる得意分野を合わせ持つ専門性の高い小学校教員を養成します。

小・中学校の連携を意識して教育を学べることが魅力。

学校教育課程 小中一貫教育コース  
小学校主免専攻 4年

谷川 淳一 Junichi Tanigawa

熊本県 熊本学園大学付属高校出身

小・中一貫教育を目玉にしており、小学校・中学校どちらの免許も取得できるのはもちろん、両方の実態を学べるのが良いですね。小学校教諭を目指していますが、一歩引いて生徒を見守り、楽しいクラスづくりをしてくれた小学校高学年時の担任にあこがれて、教職に興味を持ちました。本学科は先輩後輩のつながりが強いので、どちらとも仲良くでき、県外出身でも宮崎の遊び方や美味しいところの情報も入ってきます。教員採用試験の過去問など、先輩を通していただけたことも良いです。学科単位の行事も企画されるので、充実した学生時代を過ごせます。専門は社会科ですが、ゼミを通してものの考え方、文章の書き方まで教えてもらっています。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。そのために、小学校主免では小学校教諭一種、中学校教諭二種(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の10の教科の中から1つ)の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。

●小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしか知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性をもち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人

## 対象を切り取る鋭さと子どもに寄り添う柔らかさをもった教師に。

小中一貫教育コース 小学校主免専攻(社会) 准教授 藤本 将人  
Masato Fujimoto

教師は色々なことを考えて授業を行っています。今日、この一時間の授業で、何をどう教えよう？このように教えた理由をどのように子どもに伝えよう？授業の結果、どのような力が育つだろうか？私はそれをどのように評価したらいいだろうか？

皆さんの多くはこれまで教わる立場から教育という世界を見てきたのではないかと思います。この授業は面白かったなあ、あの授業はつまらなかったなあ、と様々な感想を持ったことでしょう。実は、面白さにもつまらなさにも上の問いに対する教師の考え方が大きく関係しています。

小中一貫教育コースでは、面白い授業の組み立て方や納得のできる評価のあり方を学ぶことができます。内容を考える講義では諸科学が鍛えてきた「対象を切り取る鋭さ」を知ることになるでしょう。方法を考える講義では附属校教員の「子どもに寄り添う柔らかさ」を感じてもらえるに違いありません。

卒業生の多くは教壇に立ち活躍しています。皆さんの入学を心よりお待ちしております。



Message

KOKOCHU  
ココに  
注目!

## 4つの実習でたくましく

小中一貫教育コースには、小学校・中学校の教員になるためだけでなく、小中一貫校の教員にもなれるように、授業科目が数多く用意されています。その1つが4種類の実習です。

教育学部には、附属施設として附属学校園(附属幼稚園・附属小学校・附属中学校)があります。その中の、附属小学校と附属中学校で実習Ⅰ～Ⅲが行われます。

実習Ⅰでは実際の学校現場に参加し観察することが主になります。実習Ⅱでは授業に関する基本的なことを学び、実際に子供たちの前に立って授業をします。そして、異学校種の実習として実習Ⅲが始まります。小主免専攻の学生は附属中学校に、中主免専攻

の学生は附属小学校に、それぞれ実習生として小中一貫教育の基本を身につけます。

4年生になると、それぞれ県内の小・中学校に行き、応用的な教育実習である実習Ⅳを受けます。

実際に教壇に立ち、子供たちとふれあい、先生方の姿を見ることによって、教員になる意志をよりいっそう強くする学生も数多く出ています。やりがいから生きがいを発見できるように、学生たちの成長を4つの実習による学びで支えています。



## 卒業後の主な進路

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園教諭、保育園、県職員、市町村職員、JA職員、社会福祉協議会、NPO法人、大学院進学 他

## 取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状<sup>※1</sup>
- 中学校教諭一種普通免許状<sup>※2</sup>
- 中学校教諭二種普通免許状<sup>※1</sup>
- 高等学校教諭一種普通免許状<sup>※2</sup>
- 特別支援学校教諭二種普通免許状<sup>※2</sup>
- 幼稚園教諭一種普通免許状<sup>※2</sup>
- 幼稚園教諭二種普通免許状<sup>※2</sup>
- 学校図書館司書教諭<sup>※3</sup>
- 学芸員<sup>※4</sup>

- ※1 卒業時に取得できる免許。
- ※2 努力次第で取得できる免許。
- ※3 本学で開講される講習単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。
- ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

# 小中一貫教育コース〔中学校主免専攻〕

Unified Elementary and Junior High School Education Course Junior High School Major

児童期から青年期にかけての人の発達過程はたいへん多感で、人間性を形成する意味からも、その人の将来に影響する大切な時期と言えます。本コースは幅広い視野に立ち、こうした発達過程を見通せる能力と10専攻(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)から1教科を専攻して修得した高い専門性を合わせ持った教員を養成します。



3歳から習ってきたピアノを生かし、  
音楽を仕事にしたい。

学校教育課程 小中一貫教育コース  
中学校主免専攻 4年

本田佳織 Kaori Honda

宮崎県 宮崎西高校出身

3歳からピアノを習っていますが、いつの間にか音楽で仕事をしたと思うようになっていました。本学科は、専門性に優れた教授陣が揃っているのが魅力です。長年ピアノだけ学んできましたが、授業では声楽や器楽、作曲、指揮法などさまざまな専門分野を学ぶことができ、視野が広がります。作曲などは、自分ではできないと思い込んでいましたが、先生の一言でアイデアが広がって楽しさを実感できました。中学校の免許はもちろん、小学校の免許も取れるため、小中学校どちらの教育法も学べ、教育への関心も深まりました。

指導教諭からは、礼儀なども教えていただけ勉強になります。音楽が苦手、得意関係なく楽しい授業ができる先生になりたいです。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

中学校主免専攻では小学校教諭二種、中学校教諭一種（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の10の教科の中から1つ）の免許を取得します。したがって本コース・専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。

- 小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしか知識・技能について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力と児童・生徒への適確な指導に資する表現力と学校現場で生きる協調性をもち、それらをしっかりと身に付けるべく一層の努力を怠らない人

## 確かな授業力と専門性を兼ね備えた教員を目指して。

小中一貫教育コース 中学校主免専攻 准教授 **有井 秀和**  
Hidekazu Arii

中学校主免専攻では、各教科の教育学とともに教科内容を深く掘り下げる専門科目を一年次から学びます。「なぜ専門科目を？」と思われるかもしれませんが、子どもたちにとって分かりやすい授業を行うには、みなさんが教科内容を深く理解していることが必要になります。例えば私の専門の化学でも、既存の反応を理解していれば新しい化学反応へと無理なくつなぐ授業が展開できるのです。

講義で学ぶことは、模擬授業や教育実習での授業で、繰り返し実践して、教員として必要な授業力を高めます。中学校主免専攻では様々な分野の教員が教科内容に関する疑問を解決し、みなさんが行う授業について支援します。

また、この専攻には小学校での教育実習もあり、どちらの校種も学んでみたいと考えている方にも対応しています。

子どもの可能性を広げていく教員と一緒に目指しましょう。



Message

KOKOCHU  
ココに  
注目!

## 卒業とともに2種類の免許状取得

小中一貫コースでは、小学校・中学校の教員になるためだけでなく、小中一貫校の教員にもなれるように、授業科目が数多く用意されています。教育学部には、高校までに習った国語や数学などの「教科専門」の授業科目の他にも、教育学や教育心理学、そして各教科の指導法について学ぶ「教職専門」という授業科目もあります。その中で、「小中一貫教育の理論と実践」や初等・中等別に各教科の「教育研究」、さらには今後小学校教員に必要な外国語活動の指導力を育成する特色ある科目が設けられています。

小主免では、小学校教諭一種免許とあわせて専修とした1教科の中学校教諭二種免許を取得します。中主免では、専修とした1教科の中学校教諭一種免許とあわせて、小学校教諭二種免許を取得します。

こうしたカリキュラムによって、教科に関する強みを持った教員、さらに9年間の見通しの中で児童・生徒の成長を支えられる教員が養成されます。卒業要件単位内で2種類の免許が取得できるので、今後、需要が期待される小中一貫校の教員としても対応でき、進路の幅が広がります。



## 卒業後の主な進路

中学校、高等学校、小学校、特別支援学校、幼稚園教諭、青少年自然の家、県職員、市町村職員、JA職員、大学院進学 他

## 取得可能な免許、資格

- 中学校教諭一種普通免許状（専修教科）※1
- 中学校教諭二種普通免許状（専修以外の教科）※2
- 小学校教諭二種普通免許状※1
- 小学校教諭一種普通免許状※2
- 高等学校教諭一種普通免許状※2
- 特別支援学校教諭二種普通免許状※2
- 幼稚園教諭二種普通免許状※2
- 学校図書館司書教諭※3
- 学芸員※4

- ※1 卒業時に取得できる免許。
- ※2 努力次第で取得できる免許。
- ※2" 履修モデルにより卒業時に取得できる免許。
- ※3 大学で開催の講習単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。
- ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

# 教職実践基礎コース

Teaching Profession Practice Basic Course

グローバル化や少子高齢化、情報化などを背景に、現代社会はめまぐるしい変化の中にあります。そのような社会を生き抜く力を次世代の子どもたちに身につけさせるため、学校教員に求められる資質・能力も多様化・高度化しています。本コースでは、小学校教員としての基本的な資質・能力とともに、今後の社会で必要とされる問題解決能力や批判的思考力、他者と協働する力などを兼ね備えた教育実践力の高い教員を養成します。

大学院まで学んだ経験をバックボーンに持つ実力ある教師になりたい。

学校教育課程 教職実践基礎コース 3年

武田 眞昂 Shingo Takeda

宮城県 延岡高校出身

両親ともに教師で、忙しく働く親を目にしてきました。だからこそ、教師を目指すつもりはなかったのですが、高校生の時に、自分の生徒から先生として慕われている母の姿を目にして、教師という仕事のやりがいを垣間見た気がしました。教職は子どもの成長を促せ、成長を感じられるところが良いです。

本コースは本県の教育事情について学ぶ授業もあります。小中学校で行われる宅習は、宮崎特有の家庭学習の姿ですが、宅習があるにも関わらず、学力は全国レベルと比べると低い。宅習をどう生かすべきかを研究したいです。自分で考える力をどうつけるか？楽しく学びながら、分かる喜びを引き出せる指導ができるようになりたいです。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

教職実践基礎コースは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に対応できる教員の養成を目指しています。そのため、教育の基礎理論、教育課程及び指導法について、教職大学院までの6年間を見通した学修を進めます。本コースでは卒業要件として小学校教諭の一種免許を取得します。また、努力次第で他の学校種（幼稚園もしくは中学校）の免許も取得できます。したがって本コースでは、教育に対する高い関心があり、教職を目指す次のような人を求めています。

- 幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能を有し、これらを教育実践に活用しようとする意欲を持っている人
- 幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす意欲のある人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲を持っている人

## Message



### 教育理論と実践力を兼備し、現代の教育課題と向き合う。

教職実践基礎コース 准教授 盛満 弥生  
Yayoi Morimitsu

本コースは、現代の教育課題に対応するための教育の諸理論と実践力を兼ね備え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの中心となる小学校教員を養成するコースです。小学校教員になるために必要な教職に関する科目や教科教育に関する科目、教育実習のほかに、教育の歴史や教育制度、教育方法など、学校教育や教育問題について学ぶ授業が用意されています。例えば、私の専門である教育社会学の授業では、現代の重要な教育課題である子どもの貧困や学力格差問題について、実態やその背景を理解し、学校教員としてどのようなアプローチが求められるのかを考えていきます。また、理論だけでなく、教育現場や地域の子ども支援の現場などでのフィールドワークも多く取り入れ、より具体的・実践的に学ぶことができるのも本コースの特長です。教職大学院と強い連携をとっており、卒業後は教職大学院への進学を前提に、6年間を見通したカリキュラム編成になっています。そのため、学部4年次にもいくつか講義が用意されています。将来は、宮崎県の小学校教員として学校の中心的存在となって活躍したいという意欲がある方、ぜひ一緒に学んでいきましょう。

KOKOCHU  
ココに  
注目!

### 教職大学院とのつよい連携

本コースでは、高い教育実践力と専門的知識をもった教員を養成するために、大学院での2年間を合わせた6年間を見通したカリキュラムが作られています。学部の4年間では、教員免許状取得に関わる教科教育に関する科目、教育学や心理学、教育実習などの教職科目を履修します。これに加え、本コースでは、教育の歴史や学校制度など、幅広い視

点から学校教育を学ぶ授業が用意されています。また、教育方法に関しても、情報メディアの活用やクラスの間関係づくり、新しくなった「特別の教科 道徳」など、実践的に、より詳しく学べるようになっていきます。これらの内容のほとんどは、教職大学院で授業を担当する教員によって行われ、教職大学院での専門性の高い学習につながっています。教育現場でのフィールド・ワークや様々なアクティブ・ラーニングを通じた学習も行い、教員としての資質を多面的に高めていきます。

### 卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭、大学院進学  
他

### 取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状<sup>\*1</sup>
- 中学校教諭一種普通免許状<sup>\*2</sup>
- 中学校教諭二種普通免許状<sup>\*2</sup>
- 高等学校教諭一種普通免許状<sup>\*2</sup>
- 特別支援学校教諭二種普通免許状<sup>\*2</sup>
- 幼稚園教諭一種普通免許状<sup>\*2</sup>
- 幼稚園教諭二種普通免許状<sup>\*2</sup>
- 学校図書館司書教諭<sup>\*3</sup>
- 学芸員<sup>\*4</sup>

- <sup>\*1</sup> 卒業時に取得できる免許。
- <sup>\*2</sup> 努力次第で取得できる免許。
- <sup>\*3</sup> 本学で開講される講習単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。
- <sup>\*4</sup> 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。



# 発達支援教育コース [子ども理解専攻]

Developmental Disorder Support Education Course Understanding Children Major

心理学の理論と知識を活用して、子どもの学校生活を支える教員を育成します。科学的・実証的な心理学のアイデアを使って、子どものメンタルヘルス、学業の向上を図ります。

子どもの心理を学び、教育に生かせるのが魅力。

学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻 3年

上坂咲綾 Saya Kamisaka(左) 三輪朱音 Akane Miwa(右)

宮崎県 宮崎北高校出身

宮崎県 都城泉ヶ丘高校出身

本専攻の強みは、心理学を専門的に学べることです。幼稚園の免許が取れます。「子どもの不安や抑うつ状態に対して、どうアプローチをするのがいいのか考え、心理学における統計なども学べるのが魅力」と三輪さん。子どもの行動と心理の関係を知り、より子どもを理解できるのが良いようです。また、「言葉での表現が確立できている小学生だけでなく、言葉を発せない乳幼児の心理まで学べるので、自分の子育てにも生かせると感じます」と語るのは上坂さん。1学年が、約10名と少人数制で、先生ともコミュニケーションが取りやすいのもポイント。教員採用試験に向けて、教員を目指している者同士、時間を合わせて勉強でき、同じ目標に向かう仲間がいることも心強いとか。思い切り学び、経験を積み重ねられる今をおう歌しています。



# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。したがって、本専攻では、教育に対する関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。

- 幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性、さらに学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力を身に付けるための努力を怠らない人



Message

## 心理学の知識を学校で活用できる教師を目指そう。

発達支援教育コース 子ども理解専攻 准教授 境 泉洋  
Motohiro Sakai

義務教育はすべての子どもたちが受ける教育です。義務教育の中で、心理学を活かした教育を実践することは、すべての子どもたちの将来における財産になります。子どもたちの心を育てる専門的な知識を持った教員養成を目指しています。

### 【研究内容】

小中学校から始まる学校不適應に関する研究を行っています。小中学校での学校不適應は、将来の社会適應にも大きな影響を与えるものです。特に、不登校から始まるひきこもりについて専門的な研究を行っています。不登校、ひきこもりへの支援では、学校だけではなく家庭や地域の協力が必須になります。そのため、学校での予防教育、家庭や地域との連携について実践的な研究を行っています。

KOKOCHU  
ココに  
注目!

## 国内でも希少な教育現場における心理学研究が盛ん

本専攻では、心理学を学び、それを応用した教育・研究が行われています。テーマは幼児・児童・生徒のメンタルヘルスの向上です。本専攻の教員は、このテーマのもとで、幼稚園・小学校・中学校の先生方と豊富な共同研究の実績をもっています。たとえば、子どもが主体的に学ぶ授業を作る、子どものストレスを改善予防するストレスマネジメント教育、幼児・児童・

生徒の対人関係を育てるソーシャルスキル教育、子どもの不安や抑うつに対する予防プログラムなどがすでに幼稚園・小学校・中学校などの教育現場で実践されています。こうした実践活動には学生も積極的に参加し、授業で学んだ子ども理解に関する専門的内容を実践の場で生かすことができるようになっていきます。学生の時から現職教員と共同研究を通して身近に交流できる機会が用意されていること、これは教員をめざす学生にとって大きな魅力になるはずです。

## ■卒業後の主な進路

小学校教諭、幼稚園教諭、児童指導員、県職員、市町村職員、大学院進学他

## ■取得可能な免許、資格

- 小学校教諭一種普通免許状<sup>※1</sup>
- 幼稚園教諭一種普通免許状<sup>※1</sup>
- 中学校教諭二種普通免許状<sup>※2</sup>
- 特別支援学校教諭二種普通免許状<sup>※2</sup>
- 学校図書館司書教諭<sup>※3</sup>
- 学芸員<sup>※4</sup>

- ※1 卒業時に取得できる免許。
- ※2 努力次第で取得できる免許。
- ※3 本学で開講される講習単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。
- ※4 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。

# 発達支援教育コース〔特別支援教育専攻〕

Developmental Support Education Course Special Needs Education Major

知的障がいや肢体不自由、病弱、発達障がいのある児童・生徒が抱えている課題や困難に対する支援や指導をするために必要な知識や技能などの専門性を身につける学修を通して、障がいのある児童・生徒の心身の発達を促し、将来の自立や社会参加を実現することのできる特別支援学校の教員を養成します。

## 一人ひとりの児童生徒にあった教育の難しさと魅力

学校教育課程 発達支援教育コース  
特別支援教育専攻 4年

岡村美彩 Misaki Okamura

宮崎県 宮崎西高校出身

母が特別支援学校の教師をしており、その姿を身近に見て育ちました。本専攻は、特別支援学校や大学の附属学校の特別支援学級に出向き、体験を通して学ぶ環境が用意されています。また、いろいろな障がいがある人と関わることができるボランティア活動も活発で、さまざまな経験を積むことができます。通常の学級に行くこともあるため、いろいろな子どもと関わることができ、通常の学級と特別支援学級・特別支援学校それぞれの教育方法のよさを感じることもできます。

本専攻独自の取り組みは、毎週土曜日に行うチャレンジ教室です。発達障がいのある子どもたちを対象とした活動で、学生自身で教材を作りながら子どもたちに関わるため、そこの学びは教育実習にも生かれます。学生の教育実践力がつくようにカリキュラムが組んであるのが魅力ですね。

# Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

特別支援教育専攻では、障がいのある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障がいに基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度および習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。したがって、本専攻では特別支援教育への関心と意欲があり、教職を目指す次のような人を求めています。

- 特別支援教育に対して熱意を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性を持つ人
- 学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心を有している人

## Message



### 障がいのある子どもの自立や社会参加に向けた指導・支援ができる教員を目指そう！

発達支援教育コース特別支援教育専攻 講師 半田 健  
Ken Handa

特別支援教育専攻では、「専門性」と「人間性」を大切にしています。特別支援学校教員は、一人ひとりの子どもを見つめ、彼らの将来を思い描きながら教育に取り組んでいます。こういった子どもの実態に即した教育には、子どもの障がいを理解し、子どもや家族の思いを汲み取るための専門知識と、指導・支援の知識・技術が必須となります。さらに、教員同士だけでなく、保護者や関係機関、地域の方との協働も欠かせません。つまり、特別支援学校教員には、教員としての「専門性」と社会人としての「豊かな人間性」が必要なのです。

宮崎大学は、宮崎県で唯一、学部と大学院の両方に特別支援学校教員の養成課程がある大学です。大学院で学ぶ現職の先生方とも一緒に勉強するので、学部段階から教育現場の実際に即した深い学びができます。こういった学びの環境で一緒に支援を必要とする子どもの未来を切り拓きましょう。

## KOKOCHU ココに 注目!

### 「チャレンジ教室」で会いましょう

毎週土曜日に木花キャンパスで開かれる「チャレンジ教室」では、発達障がいのある子どもとその保護者を対象とした教育プログラムを実践しています。初めは子どもたちへの接し方にとまどう学生も、主体的に取り組むことで次第に子どもと心を通わせていきます。一緒に参加している保護者の方々にも、家庭でのわが子への対応の仕方の参考になると好評です。本専攻では、課外の教育ボランティア活動も盛んで、授業で学んだことを生かせる実践の場が数多く用意されています。

### 先輩から後輩へ「みんなで学び合う」

特別支援教育専攻の学生たちに聞くと必ず返ってくるのが「先輩、後輩の関係がいい」、「先生方との距離が近く、話しやすい」という答え。先生方は専攻の学生一人ひとりに対してきめ細かく指導を行っています。また、授業や研究活動、課外活動においても上級生と下級生が協働する機会が多く、先輩学生が後輩に対し積極的にアドバイスし、相談に乗っています。互いに意見を出し合い、助け合い、学び合う伝統があります。県内外で多くの先輩も活躍しているので、卒業して社会に出ても宮大OB、OGとのつながりを持つことができます。

## ■卒業後の主な進路

特別支援学校、小学校、幼稚園  
教諭、大学院進学 他

## ■取得可能な免許、資格

- 特別支援学校教諭一種普通免許状<sup>※1※2</sup>
- 小学校教諭一種普通免許状<sup>※2</sup>
- 幼稚園教諭二種普通免許状<sup>※3</sup>
- 幼稚園教諭一種普通免許状<sup>※3</sup>
- 中学校教諭二種普通免許状<sup>※3</sup>
- 学校図書館司書教諭<sup>※4</sup>
- 学芸員<sup>※5</sup>

※1 取得可能な領域は知的障害、肢体不自由、病弱の3領域です。

※2 卒業時に取得できる免許。

※3 努力次第で取得できる免許。

※4 本学で開講される講習単位を修得すれば「修了証書」が交付されます。

※5 所定の単位を修得し、申請すれば「学芸員に関する科目の単位修得証明書」が交付されます。